

接着制御・メカニズム解析の考え方と分析評価法通信講座

期間	HP、案内メールをご確認ください	形式	通信講座（3講構成）
受講料	49,500円（税込み、テキスト付 & 主催講座特典）		
講師	ジャパン・リサーチ・ラボ 代表 博士（工学） 奥村 治樹		
受講の流れ			
申し込み（テキスト配本 → 演習解答）×3回 終了証発行 詳細は、 https://analysis.ikaduchi.com/adhesive-cor-course.html			
受講対象		得られる知識、スキル	
様々な分野において接着技術に関わる若手から中堅、管理者まで、R&Dを中心に、技術系人材		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎及びメカニズムモデルの理解 ・分析、評価技術と問題解決の考え方 ・表面、界面の解析アプローチ等 	
概要			
<p>接着技術はあらゆる様々な用途、場面で用いられており、現代において必要不可欠なものの一つであり、メッキや塗膜などの膜形成も接着技術の応用と言える。このように重要な接着や剥離現象を制御するためには、その表面や界面の状態や構造・特性を把握することが必要不可欠であるが、その重要度にもかかわらず、表面や界面の真の姿を知ることは容易ではない。</p> <p>本講座では、接着・剥離のメカニズムとその制御における表面・界面の真の姿を知るためのアプローチ法と分析、解析の方法を中心に、事例も交えながら詳細に解説を行う。</p>			
第1講	第2講	第3講	
【接着解析の基礎と考え方】 接着とは、接着を生む力 接着・剥離分析の考え方 接着因子と評価法 接着解析のフェーズ 剥離パターンの分類と解析フェーズ 接着剥離要因 接着不良・剥離解析アプローチ 解析アプローチ 代表的機器分析と用途 構造解析アプローチ 要因解析、モデル試験の考え方 不良解析のステップ 不良解析のステップ 剥離パターンによる分析アプローチ 原因究明と対策アプローチ メカニズム解明の実際 樹脂金属接着パターン 【演習問題】	【接着分析に用いる分析手法】 接着分析に用いる分析手法 X線光電子分光法（XPS、ESCA） オージェ電子分光法（AES） X線マイクロアナライザ（EPMA） フーリエ赤外分光法（FTIR） 飛行時間型二次イオン質量分析法（TOF-SIMS） 走査型電子顕微鏡（SEM） 原子間力顕微鏡（AFM） 【演習問題】	【接着分析事例ケーススタディ】 分析対象例 シランカップリング剤 樹脂/金属接着 界面分析 事例（ケーススタディー） 紫外線前処理による化学構造変化（XPS） 紫外線前処理による化学構造変化（TOF-SIMS） アルカリ前処理による化学構造変化解析 ポリイミド/銅界面の解析 結語 総まとめ 【演習問題】	
お申し込み	https://analysis.ikaduchi.com/tsushin-form.html または HP お問い合わせより		

URL : <http://analysis.ikaduchi.com>e-mail : haru777@star.email.ne.jp